

令和2年11月10日
四国電力株式会社

伊方発電所における通報連絡事象（令和2年10月分）および 通報連絡事象に係る報告書の提出について

- 令和2年10月に、当社から愛媛県および伊方町ほか関係自治体に通報連絡した事象は、以下の1件です。本事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所3号機 光ファイバ温度監視装置の異常信号の発信について	10月28日	—	C

- 以下の通報連絡事象について、その後の調査結果を踏まえた原因と対策をとりまとめ、愛媛県および伊方町ほか関係自治体に報告書を提出いたしました。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所3号機 復水ろ過装置接続配管フランジ部からの水漏れについて	9月17日	10月12日	C

県の公表区分 A：即公表
B：48時間以内に公表
C：翌月10日に公表

(別紙1) 伊方発電所における通報連絡事象の概要（令和2年10月分）

(別紙2) 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

以 上

伊方発電所における通報連絡事象の概要（令和2年10月分）

1. 伊方発電所3号機 光ファイバ温度監視装置の異常信号の発信について

伊方発電所3号機は第15回定期事業者検査中のところ、10月28日18時09分に光ファイバ温度監視装置^{※1}の異常を示す信号が発信したことから、保守員が調査した結果、同日18時55分に同装置に異常があることを確認しました。

現場調査を実施したところ、同装置内の光スイッチ^{※2}の不調により、光信号の強度が通常よりも僅かに低下していることを確認しました。光信号の温度監視に必要な強度は保たれており、火災感知機能に支障がないことを確認しました。また、現場調査が完了するまでの間は、現地に監視人を配置し火災がないことを確認しました。

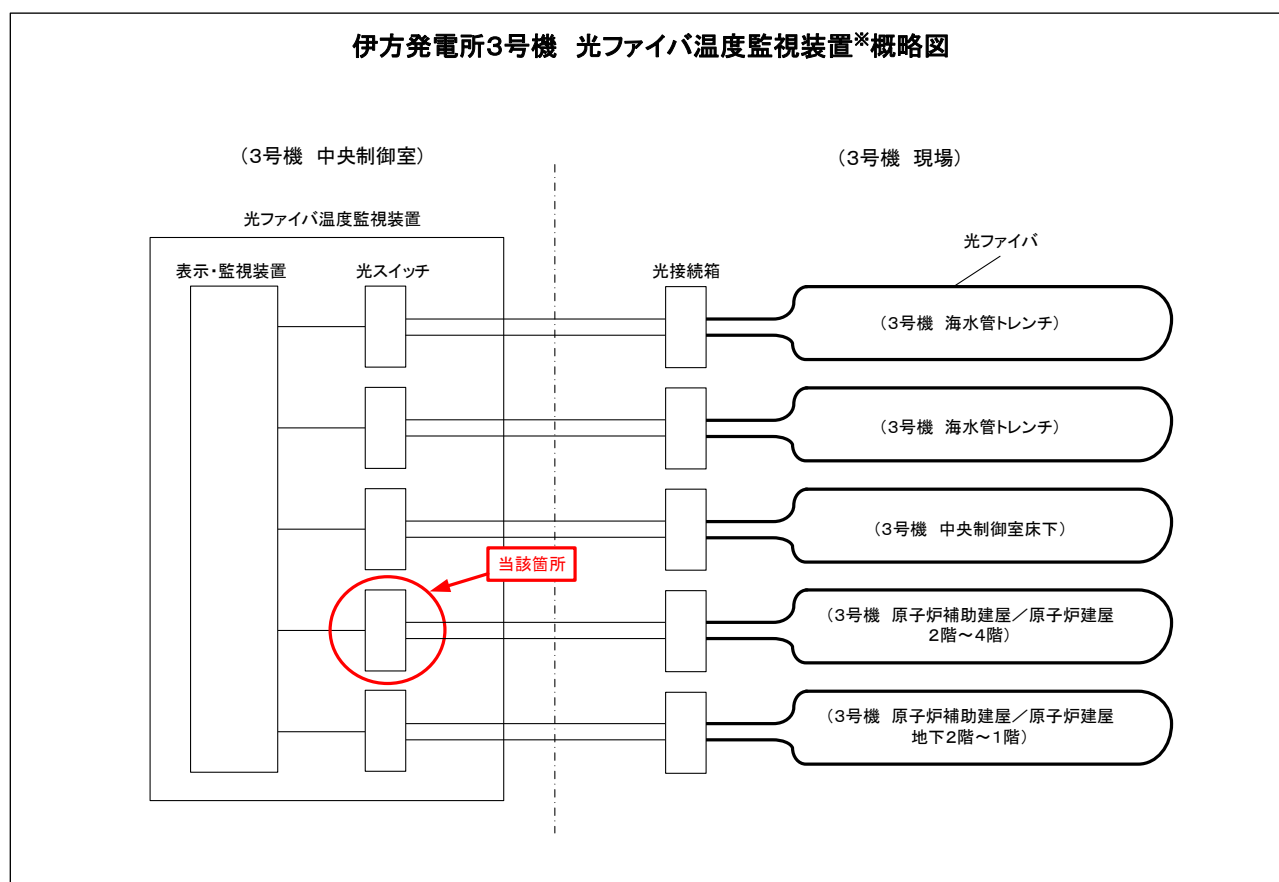
その後、光スイッチを新品に取り替え、10月30日13時25分、通常状態に復旧しました。

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありませんでした。

今後、原因について、詳細に調査を実施します。

※1：ケーブルトレイ等における火災の発生を早期に感知するため、光ファイバケーブルにより周囲の空気温度を計測・監視する装置

※2：光信号の切り替えを行う装置



以上

伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

1. 伊方発電所3号機 復水ろ過装置接続配管フランジ部からの水漏れについて

○事 象

伊方発電所3号機は第15回定期事業者検査中のところ、9月17日11時58分頃、タービン建屋1階（管理区域外）において復水ろ過装置^{*1}への水張りを実施中、同装置の流量計配管のフランジ部より水（純水）が漏れていることを運転員が確認しました。

その後、水張りを中止し、水漏れは停止しました。

漏れた水（推定約50リットル）は、放射性物質を含んでおらず、ふき取りにより回収しました。

水漏れのあったフランジ部は点検中であり、パッキンを取り外した状態でした。

本事象による環境への放射能の影響はありませんでした。また、漏れた水による周辺機器への影響はありませんでした。

※1 復水（2次冷却水）中に含まれる不純物を取り除くために設置している装置

○原 因

本事象は、

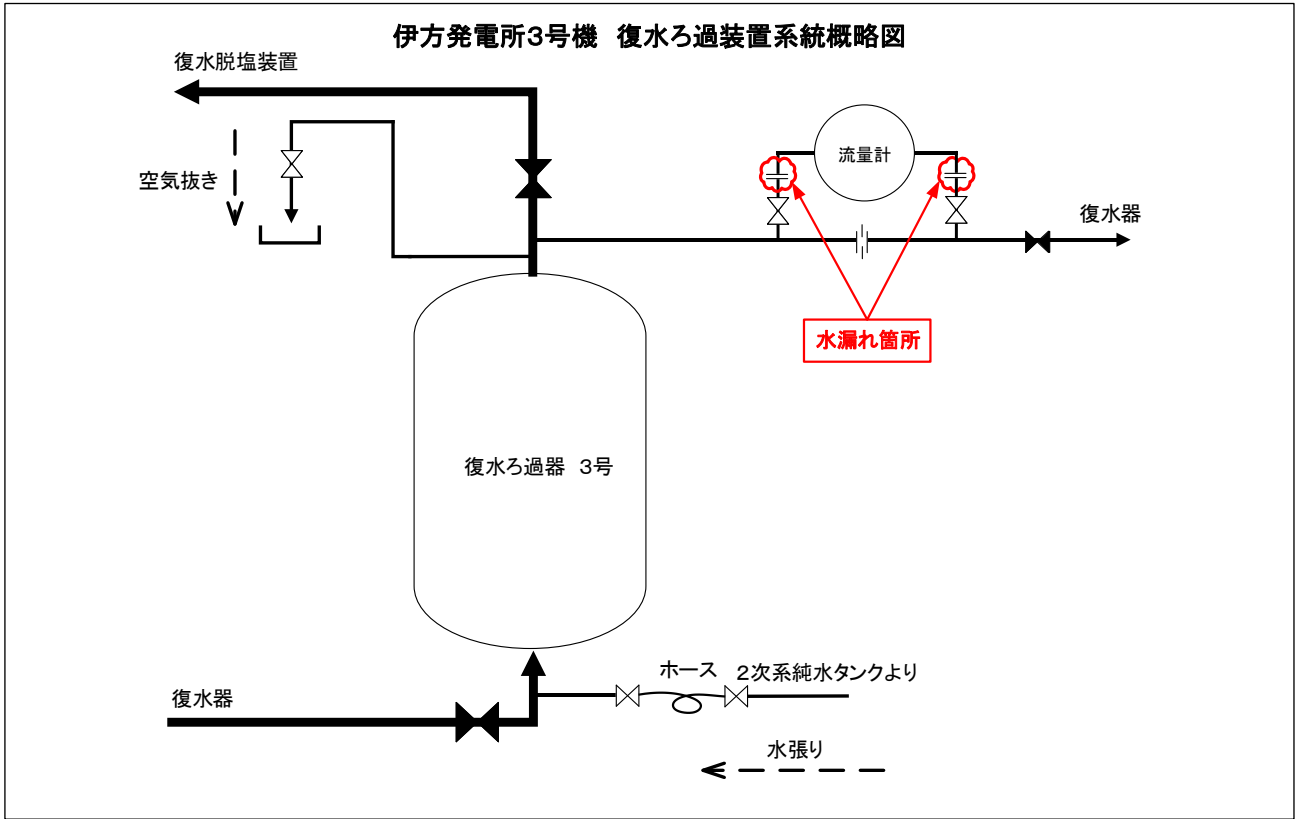
- ・運転員と保修担当者を含む関係者間の連絡が不足していたこと
- ・保修員が設備の保修情報等を管理するシステム（EAM）にて点検完了処理をしなくても運転員が復旧（水張り）できる運用であったこと
- ・復旧（水張り）作業にあたり、管理者、運転員ともに、当該フランジ点検作業が完了していることを確認していなかったこと、また、水張り範囲内の機器や配管の状態について、確認が十分にできていなかったこと

これらのことが原因で、当該フランジ部の点検が完了していない状態で復水ろ過装置の満水までの水張りを実施したことから、当該フランジ部からの水漏れに至ったと推定しました。

○対 策

- ・作業計画に変更が生じる範囲について、保修担当者を含む関係者間で詳細な打ち合わせを実施することを社内マニュアルに明記し、発電所内に周知しました。具体的には、開口部や点検情報を明記した図面をもとに、点検作業の完了確認、水張り予定日、水張り範囲およびリークチェックの必要性等について、関係者間の認識合わせを行います。
- ・復旧（水張り）作業を許可する段階において、EAMで、保修員が点検作業の完了処理および復旧依頼を実施しなければ、当該範囲の復旧許可ができない運用に変更しました。本内容については、社内マニュアルを改定し、発電所内に周知しました。
- ・隔離復旧作業の手順書に機器の点検状況を確認する項目を追記し、隔離する範囲内の点検作業完了の確認を徹底するよう管理者および運転員に周知しました。
- ・今回の事象を教訓とした資料を作成し、定期事業者検査前の運転員の教育に活用します。

伊方発電所3号機 復水ろ過装置系統概略図



以上